

茅ヶ崎市青少年対策取組方針に基づく
令和4年度事業報告

目次

1 令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針	P2
2-1 主要な事業	
(1) 社会教育課	
小和田公民館	P4
鶴嶺公民館	P5
松林公民館	P6
南湖公民館	P7
香川公民館	P8
(2) 青少年課	
育成担当	P9
体験学習センター	P10
青少年会館	P11
(3) 学校教育指導課	P13
(4) 図書館	P15
(5) 教育センター	P16
2-2 事業一覧(参考)	P18

令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針

茅ヶ崎市青少年対策基本方針に基づき、コロナ禍においても工夫を凝らしながら、青少年の主体的な活動につながるよう、次のとおり青少年対策を実施し、青少年の育成運動を推進する。

1 家庭における青少年育成への支援

(1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充

- ア 青年事業 青年の健康な余暇活動推進の一環として、オンラインの活用を含めた様々な学習機会を提供し、知識及び技能の習得及び向上、世代間交流を図る
- イ 親子事業 子どもと保護者が同じテーマで学習することによって共通の話題を持ち、相互のふれあいを図る。
- ウ 子ども事業 集団行動を通して自発性や社会性を育み、広域の児童の文化活動や仲間づくりの促進を図る。
- エ 交流事業 地域・国際の理解を深め、交流を促進する。

(2) 小学校ふれあいプラザ事業の充実

2 学校教育の充実

- (1) 地域の教育資源を活用した教育活動の推進
- (2) 児童・生徒指導の充実
- (3) 青少年教育相談の充実
- (4) ICT環境を活用した学習活動の推進

3 地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実

- (1) 青少年健全育成施設の有効利用の促進
- (2) 青少年指導者の養成
- (3) 青少年団体活動等の充実
- (4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実

4 青少年の非行防止のための地域活動の充実

- (1) 地域の広報啓発活動の推進
- (2) 非行の未然防止活動の充実
- (3) 有害環境の浄化の促進等

5 子どもの安全を守る取組の推進

- (1) 啓発活動の充実
- (2) 学校における取組の充実
- (3) 地域活動への支援
- (4) インターネットトラブル等に対する取組の充実

2-1 主要な事業

※特に記載がない場合は2月末時点の実績です。

評価基準

●指標を『事業数』、『事業実施』としている場合、動画配信やオンライン事業は『事業』として考えます。

評価	「茅ヶ崎市青少年対策取組方針に基づく令和4年度事業報告」における判定基準	新型コロナウイルス感染症の拡大により当初計画とは異なる代替手法で実施した場合
S	事業の指標を概ね(80%以上)達成し、成果があった。	代替手法が、元々の指標と同一としてとらえられる場合。
A	事業の指標は達成できなかったが、成果はあった。	代替手法による実施のため、当初の指標では測れないが、成果があった。
B	事業の指標を概ね(80%以上)達成し、成果は今後見込める。	代替手法が、元々の指標と同一としてとらえられる場合。
C	事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める。	成果はあがらなかったが、環境整備やノウハウの獲得等ができ、今後の成果が見込める。
D	事業の指標を概ね(80%以上)達成し、成果は見込めない。	代替手法が、元々の指標と同一としてとらえられる場合。
E	事業の指標を達成できず、成果も見込めない。	成果が見込めない。

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	おもしろいっぱい遊び空間
------------	--------------

取組方針	【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実
-------------	--

目標・目的	子どもが世代間交流をしながら、楽しく学ぶ空間をつくります。
--------------	-------------------------------

事業内容	松浪小学校区青少年育成推進協議会と共催で、地域の中学生のボランティアを募りながら、小学生が楽しく遊べる空間をつくるとともに、世代間・地域間交流を行います。
-------------	---

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画・実施	事業計画・実施	—	S
実績	1回	1回	—	

【事業実績】	<p>コロナ禍で減少してしまった「子どもの遊び場」、「地域に住んでいる人同士の交流の場」、「中学生ボランティアに参加してもらう場」の提供を目的に企画・開催しました。</p> <p>【上半期】 開催日時：9月17日（土）9：30～12：00 参加人数：小学生35人、松浪中学生徒ボランティア19人、松浪小学校区青少年育成推進協議会10人 内 容：小和田公民館講義室での「卓球開放」及び学習室1・学習室2での「マグネットメモボードを作ろう」は中学生ボランティアが、和室での「将棋体験」は公民館利用団体が講師を担いました。</p> <p>【下半期】 開催日時：1月28日（土）10：00～13：00 参加人数：小学生42人、浜須賀中学生徒ボランティア19人、松浪小学校区青少年育成推進協議会10人 内 容：小和田公民館講義室での「卓球開放」、学習室1・学習室2での「ライトセイバーと変身バトン」実習室での「ポカポカ入浴剤」は中学生ボランティアが、和室での「将棋体験」は公民館利用団体が講師を担いました。</p>
---------------	--

【取組の成果】 小学生の参加は定員に達しませんでした。全ての部屋に回り体験してもらうことができました。中学生のボランティアも志願して参加いただき、小学生との交流を通じて、説明することの難しさや教えることの楽しさなどを学べたとの感想が寄せられました。 松浪小学校区青少年育成推進協議会とは、事前打ち合わせや物品の用意など、企画から連携することができました。 将棋体験は、高齢者の将棋団体が来場した子どもたちと対戦をしながら、世代間交流ができました。	【課題・今後の取組】 コロナ禍以前は、事前予約なしで参加してもらっていましたが、現在は事前予約の定員制で開催しています。 用意する物品の数に不足が生じることがないメリットもあることから、今後の開催方法について、検討する必要があります。
---	--

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	海藻おしば教室
------------	---------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充 イ 親子事業
目標・目的	国連が定める「持続可能な開発目標 SDGs」の啓発のため、海藻を使ったおしば（ポストカード）を作ることとおして、市民にとって特に身近な海の環境について考える心を養います。
事業内容	親子を対象に、海藻を使ったおしば（ポストカード）作りに取り組み、SDGsについて学びます。

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画	事業実施	—	S
実績	事業計画・実施	—	—	

【事業実績】
<p>身近な海が汚染されている現状を理解し、海・環境を大切に考える心を養うことを目的に、海藻おしば教室を開催しました。</p> <p>開催日時：8月4日（木）13：30～15：30 対象：5歳程度以上 参加人数：8組12人（主な参加層は5歳～小学校6年生） 講師：高山優美さん（海藻おしば協会神奈川支部支部長）</p> <p>海藻を使ったおしばづくりをおして、子どもたちに手作り工作の楽しさを感じられる講座内容にしました。 また、講師からおしばづくりを使う海藻の話の中で、海の汚染の現状や私たちの生活との関わりを説明していただき、クイズ形式などを取り入れ、子どもから大人まで、楽しみながら自然に学べる機会となりました。</p>

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
<p>単に「SDGs」や「環境問題」について話す講座では、子どもに馴染みのないもの、興味関心が持ちにくいものになってしまうと考え、企画検討を行いました。</p> <p>講座後アンケートの結果からも、工作を楽しみながら、身近な海の環境問題について考える機会を作ることができたと考えます。</p>	<p>「茅ヶ崎市総合計画を進めるためのちがさきSDGsターゲット」のちがさきSDGsターゲットとして「～プラスチックごみの発生抑制等を推進することにより、陸上活動からの汚染を抑制し、海の豊かさを守ります。」と謳っています。当館としても、SDGsに関する啓発事業を継続的に行い、子どもから大人まで環境問題について考える機会を提供していきたいと考えています。</p>

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	子どもの広場
------------	--------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 ウ 子ども事業
目標・目的	地域のボランティアの協力を得て、子どもたちへ様々な体験の機会や必要な知識を提供していきます。また、子どもたちの自主性を育てる内容等を盛り込んでいきます。社会の状況に合わせて、開催方法について適宜対応しながら実施していきます。
事業内容	季節に合わせた工作等の事業を地域の関係団体の協力を得ながら実施していきます。社会の状況に合わせて、開催方法を検討しながら実施していきます。

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画・実施	事業計画・実施	—	S
実績	事業計画・実施	事業計画・実施	—	

【事業実績】	
<p>子どもの広場は、季節の祭りに関連したものづくりや、子どもだけではできない遊びやスポーツなどをする機会や場所を、ボランティアの団体等の協力を得ながら提供しています。作品を見せ合うことによって参加者同士の交流も図り、コロナ禍で各種イベントが縮小されているなか、ものづくりの楽しさをZoomなどオンラインを活用して体験してもらいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月23日(土)「ミニミニこいのぼり♪作ってみよう」(Zoom) 参加人数：9人 ・ 5月28日(土)「クイズ&おもしろゲーム大会」(Zoom) 参加人数：6人 ・ 7月2日(土)「七夕飾り」 参加人数：20人 ・ 8月6日(土)「サンキャッチャー作り」(Zoom) 参加人数：9人 ・ 9月24日(土)「わなげ大会」 参加人数：17人 ・ 10月15日(土)「青少年指導員と遊ぼう」 参加人数：35人 ・ 11月27日(日)「芋づるで作るクリスマスリース」 参加人数：12人 ・ 12月10日(土)「お正月飾り」 参加人数：14人 ・ 2月5日(日)「フェルトボールを作ってみよう」 参加人数：6人 ・ 2月26日(日)「ひな祭り工作」(Zoom) 参加人数：10人 	

<p>【取組の成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染対策を行いながら、Zoomによる講座を4回、対面による講座を6回開催できました。講師は、松林公民館近隣にお住いの方の他に、松林学区青少年育成推進協議会、松林学区青少年指導員、室田学区青少年指導員、松林地区体育振興会と協力して、企画を行いました。</p> <p>参加者数は定員以上が5回、定員以下が5回となり、徐々に講座参加人数が回復してきています。参加者アンケートでは、提出者のほぼ全員が、「楽しかった」「また参加したい」を選んでおり、リピーターも増えてきています。</p>	<p>【課題・今後の取組】</p> <p>Zoomによる講座では、実際に公民館に足を運ぶことなく自宅で受講できるという利点がありますが、参加者同士が力を合わせて協力して作業することが十分にできないため、徐々に参加者同士が実際にふれあえるスポーツや、交流できる対面での事業を増やしていく必要があると考えます。</p> <p>今後は、Zoomによる講座の利点も視野に入れつつ、対面による講座の割合を増やしていくなど、検討を重ねます。</p>
---	---

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	子どもの広場
------------	--------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充 ウ 子ども事業
目標・目的	小学生を対象に学区や学年を超えた仲間づくりと交流の場を提供します。
事業内容	野外活動や工作などを通じて、子どもの考える力や発想力、共に協力する力を育む一助とします。

活動指標	事業実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業実施2回	事業実施3回	事業実施5回	S
実績	事業実施3回	事業実施4回	事業実施7回	

【事業実績】	
<p>子どもの考える力や発想力、ともに協力する力を育むため、小学生を対象に次の野外活動や工作活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月28日(木) 「夏休み特集①タイドプール(潮だまり)で遊ぼう！」 参加人数： 9人 ・ 8月10日(水) 「夏休み特集②アイスクャンディーソーブを作ろう！」 参加人数： 8人 ・ 8月24日(水) 「夏休み特集③相模川の生きものをみてみよう！」 参加人数： 11人 ・ 10月22日(土) 「さつまいもを掘って、焼きいもを食べよう！」 参加人数： 9人 ・ 11月19日(土) 「辻堂海浜公園で遊ぼう！」 参加人数： 7人 ・ 12月17日(土) 「クリスマス飾りを作ろう！」 参加人数： 9人 ・ 1月21日(土) 「凧を作ろう！」 参加人数： 19人 <p>コロナ禍の中で、少人数での実施とならざるを得ませんでした。対面で実施することができ、申込者はおおむね定員を超えていました。</p>	

<p>【取組の成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、子どもたちの活動が制限された中、感染拡大に配慮しながらこれだけの対面事業を実施し、子どもたちの歓声が聞け、笑顔が見られたことは、公民館事業として一定の評価ができると思います。</p> <p>参加した子どもたちは、いつもと違う環境の中で、初めて会う子どもや異学年の子どもとしっかり話し合ったり協力したりしながら、目標に向かって作業を行いました。</p>	<p>【課題・今後の取組】</p> <p>対面での事業を実施することができましたが、人数制限等により、申し込みをしても参加できない子どもが出てしまいました。また、事業の時間を短くすることで、作業の一部を職員や講師が事前に行うこともあり、子どもたちに申し訳なく思うこともありました。</p> <p>今後は、感染状況やウイルスの変化の状況などを注視し、より効果的な学びの機会を提供できるように、公民館職員が調整能力や対応力を高めて、子どもたちが成長できるよう寄り添っていきたいと考えています。</p>
---	---

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

<p>事業名</p>	<p>レッツ！トライ！ボランティア！！2022</p>			
<p>取組方針</p>	<p>【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実</p>			
<p>目標・目的</p>	<p>福祉施設や保育施設との交流やその他イベントを通じ、子どもたちが主体的に考え実践する力をつけさせるとともに、地域の大人や異なる学校、学年の子どもたち同士の交流の促進を図ります。</p>			
<p>事業内容</p>	<p>住んでいる地域等の課題や、福祉、防災、平和等について幅広く学習するとともにレクレーションを通じ参加者同士の交流を深めます。</p>			
<p>活動指標</p>	<p>事業計画・実施</p>			
	<p>上半期</p>	<p>下半期</p>	<p>通年</p>	<p>評価</p>
<p>目標</p>	<p>事業計画・実施実施</p>	<p>事業計画・実施</p>	<p>—</p>	<p>S</p>
<p>実績</p>	<p>事業実施</p>	<p>事業実施</p>	<p>—</p>	<p>S</p>
<p>【事業実績】 子どもたちの学ぶ意欲を高め、主体性を育てるとともに地域の大人との交流を深めることを目的として、月毎にテーマを設定して事業を実施しました。 対象：小学校3年～中学校3年生 登録者数：10人（小学3年生3人、4年生3人、5年生2人、6年生2人） ・5月15日（日）「保護者説明会」参加者：子ども9人、保護者9人、大人実行委員10人 内容：本事業の活動内容、今後の予定等 ・6月19日（日）第1回活動「アイスブレイク、あそび」参加者：子ども9人、大人実行委員8人、特別講師1人 内容：最初の活動であることから参加者同士の親睦を深めるため様々なあそびやゲーム等の実施 ・7月17日（日）第2回活動「認知症ってなんだろう？」参加者：子ども8人、大人実行委員7人、特別講師1人 内容：認知症の種類や症状の学習及びロールプレイングをとおして自分たちができることの話し合い等 ・8月21日（日）第3回活動「お楽しみ会」参加者：子ども10人、大人実行委員10人、特別講師1人 内容：高齢者施設に向けたビデオレター作成、ゲーム、夕食、お楽しみ会等実施。（完成したビデオは後日福祉施設へ寄贈） （当初は公民館への宿泊を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、宿泊は中止としました。） ・9月18日（日）第4回活動「ランタンづくり」参加者：子ども10人、大人実行委員6人 内容：使用済みの牛乳パックを使用して各自オリジナルのランタンを製作 ・10月16日（日）第5回活動「環境とSDGs」参加者：子ども10人、大人実行委員7人 内容：今と昔の環境変化、身の回りの環境にやさしい取り組み、地球温暖化とプラゴミ問題について ・11月20日（日）第6回活動「福祉マップづくり」参加者：子ども8人、大人実行委員7人、特別講師1人 内容：事前に宿題とした危険箇所やバリアフリーを見つけ、活動当日にマップづくりを実施。 ・12月18日（日）第7回活動「オリジナルカレンダーづくり」参加者：子ども10人、大人実行委員8人 内容：カレンダーに好きな記念日やイラストを入れ、紙版画にして令和5年のカレンダーを製作。 ・1月22日（日）第8回活動「正月遊び かるたをつくろう」参加者：子ども8人、大人実行委員8人 内容：年長児が遊べるように、小学校生活をイメージしたかるたを製作。完成したかるたは後日保育園へ寄贈。 ・2月19日（日）第9回活動「福祉マップづくり」参加者：子ども9人、大人実行委員7人 内容：11月の活動の続き。完成した作品は、3月の公民館まつり等に展示し、子どもたちが観覧者に説明する予定。 ・3月19日（日）第10回活動「レッツフィードバック、レクリエーション」（予定） 内容：1年間の振り返りを行うとともに、ゲーム等を行い楽しく過ごしてもらう。 ＊3月11日（土）・12日（日）第32回香川公民館まつり、3月21日（火）みんなのまつり（湘北地区社会福祉協議会主催）に参加予定</p>				
<p>【取組の成果】 例年、20人前後で行っている本事業ですが、令和3年度同様10人限定で、全て対面で実施しました。 約1年をとおして子どもたちの出席率は大変高く、回を重ねるごとに誰もが積極的に発言する場面も多く見受けられました。また毎回課す宿題も全員がしっかりと調べてきており、当日班で話し合う場面では上級生が下級生をしっかりとサポートする場面あり、活動をとおして自主性や協調性が生まれ、大人実行委員や子ども同士の交流もしっかり深めることができました。さらには、まつり等へ参加することにより、学習成果発表の機会を得ることができたのも大きな成果であると考えています。</p>	<p>【課題・今後の取組】 コロナの影響により、令和4年度も高齢者施設や保育園訪問は実現せず、代わりに製作した作品やビデオを提供、また、8月は宿泊イベントを取りやめお楽しみ会に内容を変更して実施しました。 令和5年度は、数名の大人実行委員が脱退する予定であることから、新たな若いスタッフの獲得をするとともに、スタッフ体制が整い子どもを募集し、活動テーマを1本に絞った上で下半期よりスタートすることを検討します。</p>			

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	小学生向け体験活動事業
------------	-------------

取組方針	【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (3) 青少年団体活動等の充実
-------------	---

目標・目的	野外活動を通して集団行動のルールを学び、学校・子ども会の枠を越えた仲間づくりを図るとともに、リーダーとして活動できる人材の養成を図ります。
--------------	---

事業内容	小学校5、6年生を対象に、野外炊事や危険予知トレーニング(KYT)、自然環境の中での体験活動等を行うことで、集団行動のルール等について学習するとともに社会性を育み、集団の中でリーダーとしての役割を担うことのできる人材を養成します。
-------------	---

活動指標	企画検討・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	企画検討・実施	企画検討・実施	-	S
実績	企画検討・実施	企画検討・実施	-	

【事業実績】

小学5・6年生が、青少年関係団体の協力を得ながら自然環境の中で異年齢交流や集団活動を行い、野外炊事や薪割、キャンプファイヤーなどの直接体験を通してリーダーとしての心構えや危険予知トレーニング(KYT)を学びました。

・小学生リーダー養成講座（夏）

開催日時：【事前研修】7月2日（土）13時30分～15時00分

【体験活動】7月16日（土）11時00分～15時40分

場 所：【事前研修】青少年会館2階ホール【体験活動】ちがさき柳島キャンプ場

参加人数：【事前研修】9人 【当日】8人

内 容：野外炊事、レクリエーション、KYT（危険予知トレーニング）

・小学生リーダー養成講座（宿泊）※事前研修は①②選択制

開催日時：【事前研修】①9月11日（日）14時00分～15時30分 ②9月13日（火）13時30分～14時30分

【体験活動】10月1日（土）～10月2日（日）

場 所：【事前研修】①青少年会館2階ホール ②茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室1・2

【体験活動】YMCA三浦グローバル・エコ・ヴィレッジ

参加人数：【事前研修】①8人 ②5人 【体験活動】13人

内 容：野外炊事、レクリエーション、キャンプファイヤー、いかだチャレンジ、KYT（危険予知トレーニング）

・小学生リーダー養成講座（冬）

開催日時：【事前研修】1月28日（土）10時00分～12時00分

【体験活動】2月4日（土）11時00分～15時40分

場 所：【事前研修】市役所本庁舎4階 会議室1【体験活動】ちがさき柳島キャンプ場

参加人数：【事前研修】12人 【当日】13人 【ジュニアリーダー】6名

内 容：野外炊事、レクリエーション、KYT（危険予知トレーニング）

【取組の成果】

初対面の子ども達が、事前研修で班ごとに「班の目標」や「班の名前」「野外炊事で気を付けること」等を考えることで打ち解け、当日は協力し合ってプログラムを行うことができました。宿泊の講座では、自らがスケジュールを把握しながら時間や施設のルールを守りつつ生活し、イカダやキャンプファイヤーをとおして仲間と協力することでプログラムを成功させる体験ができました。年間3回の講座のうち、2回以上参加をした小学生は薪割や火起こし・炊事の上達や、仲間に教える姿が見られ、自然と集団の中のリーダーとしての自覚が生まれていました。2/28時点で、本講座に参加した小学6年生12名のうち、5名が令和5年度ジュニアリーダー養成講座に申し込みをするなど、リーダー意欲や積極性を育てることができました。

【課題・今後の取組】

課題として、全講座20名の定員に対し半数程度の応募となっていることが挙げられます。要因としてはコロナ禍における「体験活動」への慎重性や、情報が対象者に届いていないといったことが考えられるため、場面に応じた適切な感染症対策の実施や、新たに運用となったLINEのセグメント配信機能等を活用し、対象者を絞った的確な周知を図ることにより、参加者の増加に努めます。

小学生向け体験活動事業の受講者をジュニアリーダー養成講座の申し込みへつなげることができたため、引き続き参加者がステップアップしていけるつながりを意識した事業の実施に努めます。

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	茅ヶ崎公園体験学習センターにおける自主事業
------------	-----------------------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 エ 交流事業
目標・目的	さまざまな学びや体験を通じて、子どもから高齢者まであらゆる世代の交流促進を目指します。
事業内容	体験学習事業を通じ多世代交流を推進します。

活動指標	体験学習事業の実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	8回	8回	16回	S
実績	9回	8回	17回	

【事業実績】	
<p>令和4年度は主催事業を24回実施しました。 そのうち、青少年が参加した体験学習事業は17回でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月14日(土)「海の石でペーパーウェイト作り」 参加人数：24人(青少年以外の参加者を含む。以下同じ。) 「ハワイ気分deコースターづくり」 参加人数：11人 ・5月15日(日)「こどもフラダンス体験」 参加人数：20人 「フラダンス体験レッスン」 参加人数：56人 ・5月22日(日)、29日(日)「姥島(烏帽子岩)自然観察会」 参加人数：30人 ・7月2日(土)「マイクロプラスチック講演会と調査体験」 参加人数：57人 ・8月2日(火)「SUP・アウトリガーカヌー体験教室」 参加人数：22人 ・8月28日(日)「こどもの身体づくりワークショップ」 参加人数：17人 「スポーツウエルネス吹き矢を体験しよう」 参加人数：23人 ・10月10日(月・祝)「スポーツの秋 STTを体験しよう」 参加人数：9人 ・11月3日(木・祝)「現役テレビマンが教えるテレビの舞台裏」 参加人数：13人 ・11月19日(土)、20日(日)、23日(水・祝)「森上義孝氏自然画展・トーク・彩色教室」 参加人数：206人 ・12月4日(日)「点字を知ろう 作ってみよう」 参加人数：16人 ・12月10日(土)「お正月しめ縄作り」 参加人数：20人 ・2月26日(日)、3月12日(日)「陶芸教室」 参加人数：20人 ・3月4日(土)「簡単!きれいな印象メイクセミナー」 参加人数：20人 ・3月5日(日)「歩育講座」 参加人数：29人 <p>体験学習事業の他、開設4周年記念として企画した「うみかぜテラスコンサート」では高校生ボランティアが運営スタッフとして参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月11日(土)「うみかぜテラスコンサート」 高校生ボランティア5人 	

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
<p>体験学習事業をとおして子どもから高齢者まであらゆる世代が交流できる場を提供しました。青少年が参加した17事業のうち5事業は、体験学習センターで活動する登録団体に講師を依頼しており、特に「フラダンス体験レッスン」では、日頃、登録団体の練習に参加している子どもたちが講師のアシスタントに回るなど、子どもたちにとっても貴重な経験の場となりました。</p> <p>また、うみかぜテラスコンサートでは、高校生にボランティアとして参加してもらうことで、出演者や大人のボランティアとの交流を図ることができました。</p>	<p>施設の利用者は高齢者層が中心となっており、施設・設備の効果的な活用や主催事業の企画によりいかに若い世代に働きかけていくかが課題となります。引き続き、登録団体や地域、民間事業者、市の関係課との連携を図りながら、これまでの取組をさらに進展させることで、子どもから高齢者までが出会い、学び、楽しみ、仲間をつくる体験学習の機会を提供していきます。</p>

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	青少年事業の実施			
取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 ア 青年事業			
目標・目的	青少年の健全育成のため、余暇活動推進の一環として居場所づくりや多様な学習の機会を提供します。			
事業内容	(1)講師による体験型講座 (2)YouTubeを活用した動画配信講座 (3)Zoomを活用した講座 (4)施設を有効利用した事業			
活動指標	実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	8回	4回	12回	
実績	19回	15回	34回	

【事業実績】

青少年の余暇活動推進の一環として、多様な体験学習の機会を提供するため各種講座を実施しました。感染対策を徹底し、対面講座を主に青少年の長期休暇である夏休みにあわせ創造力・表現力を育みながら異年齢間の交流ができる講座を行いました。

1 講師による体験型講座

- (1) 鉄道模型の工作教室（2回実施）及び走行会
 - ①5月15日（日）、21日（土）、22日（日） ②8月20日（土）、21日（日）、27日（土）
 - ③10月2日（日）走行会 参加人数：延べ70人
 内容：0ケージ模型電車を3日間で作成し、レール軌道上を走らせました。
- (2) 6月18日（土）「UVレジンでクリームソーダを作ろう！」 参加人数：23人
内容：UVレジンを使用してミニチュアフード（クリームソーダ）を作りました。
- (3) 6月26日（日）「スポーツチャンバラ」 参加人数：11人
内容：スポーツチャンバラをとおして礼節を学び、精神力と集中力を身に着けました。
- (4) 親子のプログラミング教室（3回実施）
 - ①7月2日（土） ②9月11日（日） ③2月12日（日） 参加人数：延べ54人
 内容：初心者も楽しく取り組むことができるよう、ゲームを作成するプログラミングに挑戦しました。
- (5) 7月30日（土）「小学生のヨット乗船体験教室」 参加人数：13人
内容：2020年オリンピック会場の江の島ヨットハーバーにて海とセーリングの楽しさを体験しました。
- (6) 8月2日（火）～3日（水）「鍵盤ハーモニカでJAZZを弾いてみよう」 参加人数：延べ28人
内容：小学生に身近な鍵盤ハーモニカを用いて同年代の参加者と楽しく音楽を学びました。
- (7) 8月3日（水）「沖縄のシーサーを作ろう！」 参加人数：12人
内容：親子・兄弟でペアの表情豊かな「シーサー」を楽しく作りました。
- (8) 8月7日（日）「チリメンモンスターをさがせ！」 参加人数：19人
内容：チリメンジャコや小さなエビやカニ等を使い自分だけのミニチリメン図鑑を作りました。
- (9) 8月23日（火）～25日（木）「夏休み卓球教室」 参加人数：延べ36人
内容：卓球の基礎を学びながら達成感を得るとともに、異年齢間の交流を図りました。
- (10) 9月4日（日）「スポーツ吹き矢体験教室」 参加人数：15人
内容：ねんりんピック種目「スポーツ吹き矢」を楽しく体験しながら集中力を身に着けました。
- (11) 9月17日（土）「苔玉教室」 参加人数：9人
内容：初心者でも育てやすい植物で、参加者だけの世の中に一つしかない可愛い苔玉を作りました。
- (12) 9月23日（金・祝）「たのしい科学教室『まわれ！浮沈子』」 参加人数：18人
内容：まわる浮沈子を作成し簡単な実験を行い、子どもの理科への関心を引き出しました。

次頁に続く

【事業実績】

1 講師による体験型講座（前頁からつづく）

- (13) 10月8日（土）「ビーズ教室」 参加人数：15人
内容：ものづくりへの興味や好奇心を刺激し視野を広げるとともに、家族の触れ合いを図りました。
- (14) 11月13日（日）「お米の教室」 参加人数：23人
内容：お米屋さんが講師となり、文化や産地の違うお米の食べ比べ等、親子で学ぶ食育教育を行いました。
- (15) 11月20日（日）「消しゴムスタンプ教室」 参加人数：12人
内容：表現意欲や創造力を高めながら道具を使う技能を習得するとともに、異年齢間の交流を図りました。
- (16) 11月23日（水・祝）「ねんどdeミニチュアフード マーブリングキャンディ」 参加人数：11人
内容：ものづくりへの興味や好奇心を刺激し視野を広げるとともに、異年齢間の交流を図りました。
- (17) 11月26日（土）「ねんどdeミニチュアフード クリスマスカップケーキ」 参加人数：17人
内容：ものづくりへの興味や好奇心を刺激し視野を広げるとともに、家族の触れ合いを図りました。
- (18) 2月18日（土）「たのしい科学教室『ロボット』」 参加人数：17人
内容：迷路にロボットを走らせるため、筋道を立て論理的に考える力を身に着けました。
- (19) 3月4日（土）「たのしい科学教室『プラスチック』」 参加人数：11人
内容：プラスチックを使用した実験を通し、ごみ処理等が地球環境にいかにか重要な環境学習を行いました。

2 YouTubeを活用した動画配信講座

- (1) 7月1日（金）～7月17日（日）「オンライン盆栽教室」 参加人数：20人
内容：時間と場所を選ばず学べる参加者限定講座。日本人の伝統的な美意識について学びました。

3 Zoomを活用した講座

- (1) オンラインブックトーク（図書館共催事業）（10回実施）5月～月1回 開催（P15関連記載あり）
内容：読書を通して青少年の健やかな成長を支援するとともに、読書習慣を形成します
※7月は8月に博物館と連携して夏休み特別企画として開催のためお休みとしました
- (2) どこでも本ダナ ①8月2日（火）～8月31日（水）貸出タイトル数：34 貸出人数：45人
②12月17日（土）～1月9日（月）貸出タイトル数：16 貸出人数：16人
内容：図書館との共催事業「オンラインブックトーク」で紹介した本や夏休み・冬休みにおすすめの本の展示・閲覧を青少年会館ロビーで実施し、図書室での貸出しも可能としました。

4 施設を有効活用した事業

- (1) 学習室開放
内容：施設有効利用の促進のため、空き貸室を学習室として開放しています。
- (2) トレーニング室開放
内容：施設有効利用の促進及び地域交流のため、トレーニング室を個人利用として開放しています。
- (3) 音楽室個人利用
内容：施設有効利用の促進のため、音楽室を個人利用として開放しています。
- (4) 卓球開放
内容：施設有効利用の促進及び余暇活動推進のため、休日に貸室を卓球場として開放しています
- (5) 青少年会館ライブステージ 11月23日（水・祝）
内容：青少年会館を活動の場としている青少年団体の日頃の学習の成果を発表する場として開催しました。

【取組の成果】

Withコロナとして感染対策を行いながら、対面による体験型講座を23回、動画配信講座を1回、図書館と連携したZoomを使った講座を10回開催しました。また令和2年度より開催を中止していた「青少年会館フェスタ」を開催内容を見直し、「青少年会館ライブステージ」として青少年団体による日頃の活動の成果を発表する場として、また団体同士の交流を図る場として開催することができました。開催に当たっては梅田中学校の生徒がボランティアとして協力してくれました。

【課題・今後の取組】

青少年を対象としたZoom講座は、特に低学年は参加するに当たり保護者の参加や実際に操作する事が必須となるためか、参加者が少なく大変苦慮しました。
各講座開催後の参加者アンケートでは、参加したい開催方法として、ほぼ全員が「青少年会館での教室」と回答がありました。
今後のICTを活用した講座については、実績と参加者の声を聞きながら開催していきます。

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	学校支援・地域連携事業
------------	-------------

取組方針	<p>【2】学校教育の充実</p> <p>(1)地域の教育資源を活用した教育活動の推進</p>
-------------	---

目標・目的	<p>学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで児童・生徒の心身の健やかな育成を図ります。また、地域の教育資源を生かした様々な教育活動をとおして、より質の高い学びの実現を図ります。</p>
--------------	--

事業内容	<p>「茅ヶ崎市教育基本計画」に基づき、学校支援・地域連携事業等を生かした地域との連携を軸にした教育活動の実施、及びふれあい教育推進事業、中学校部活動指導協力者の派遣、読書活動指導協力者の派遣、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の設置等を推進します。</p>
-------------	--

活動指標	計画の実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業実施	—	計画の実施	S
実績	事業実施	事業実施	計画の実施	

【事業実績】	<p>「茅ヶ崎市教育基本計画」に基づき、地域との連携を軸とした教育活動の実施及び指導協力者の派遣等を推進しました。</p> <p>「地域とともにある学校づくり」の推進に係る令和7年度までの学校運営協議会の全校への設置に向けて、令和4年度は3校に設置するとともに、令和5年度設置予定校への説明会等を行いました。</p> <p>学校支援・地域連携事業については、小・中学校各2校を実践研究校に指定し、研究を推進するとともに、担当者を開催し、青少年課職員による講演及び各小・中学校担当者による情報交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践研究による学校・家庭・地域社会の望ましい連携の在り方についての研究 <ul style="list-style-type: none"> 小学校2校（鶴が台小学校、小出小学校） 中学校2校（円蔵中学校、北陽中学校） ・講演会：6月9日（木）「学校と地域の連携のあり方について」 <p>ふれあい教育推進事業については、前期に小学校10校、中学校4校、後期に小学校17校、中学校10校で国際交流学習や農業体験学習等が実施された旨、報告を受けました。</p> <p>中学校部活指導協力者派遣事業については、12月末までに市内中学校に、のべ1,694回の指導協力者の派遣を行うとともに、指導協力者を対象に研修会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動指導協力者研修会：5月7日（土）集合・オンラインのハイブリッド方式で開催 <p>読書活動指導協力者派遣事業については、小学校19校に読書活動指導協力者の派遣を行うとともに、連絡会をとおして情報交換等を行い、各学校の状況を把握しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動協力者連絡会：9月2日（金）
---------------	---

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
<p>令和3・4年度実践研究校の鶴が台小学校・円蔵中学校に配置した地域コーディネーターと校内コーディネーターが、学校支援・地域連携の中心となり、地域学校協働活動の充実や活性化を図りました。令和4年度については、コロナ禍においても各学校が工夫しながら地域連携に取り組んでいるとの報告を受けました。</p>	<p>地域の方との連携については、協力者の高齢化やコロナ禍の影響により打合せ時間の確保が難しく、学校と地域の関係が疎遠になってしまうことなどが課題としてあげられました。</p> <p>また、学校運営協議会の全校設置に向けて、これまでに設置した学校の成果と課題を踏まえ、今後の運用方法及び新たに設置する学校への支援を行っていきます。</p>

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

<p>事業名</p>	<p>GIGAスクール構想事業</p>			
<p>取組方針</p>	<p>【2】学校教育の充実 (4)ICT環境を活用した学習活動の推進</p>			
<p>目標・目的</p>	<p>未来を担う子どもたちの学びをより豊かなものにしていくため、国のGIGAスクール構想に基づき、市内の全小・中学校に整備したICT環境を効果的に活用した学習活動を展開できるように、教職員の指導力の向上を図り、児童・生徒の「情報活用能力」を育成します。</p>			
<p>事業内容</p>	<p>教職員に対して、児童、生徒が1人1台タブレット端末を有効に活用できるよう、ICTを活用した指導力向上のための研修を行います。電算化した学校図書館について、蔵書検索や児童・生徒の読書量の実態把握等、タブレット端末を生かした学校の情報拠点としての活用を図ります。また、家庭と学校を結ぶツールとして、タブレット端末を家庭でも活用できるよう段階的に準備を進め、学校教育のDX化を推進します。</p>			
<p>活動指標</p>	<p>教育委員会による教職員に対する研修実施回数</p>			
	<p>上半期</p>	<p>下半期</p>	<p>通年</p>	<p>評価</p>
<p>目標</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>10回</p>	<p>S</p>
<p>実績</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>28回</p>	
<p>【事業実績】</p>				
<p>各学校に配備したタブレット端末が十分に活用されるよう、校内パソコン委員会担当者会において、3回の研修を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（4月11日）端末の具体的な活用の仕方についての研修 ・第2回（7月8日）タブレット端末を利活用していく視点を中核に据えた授業研究協議会 ・第3回（1月20日）タブレット端末の年度更新作業について ・1年経験者研修（8月22日）、茅ヶ崎・寒川地区小学校教育研究会養護部会研修（10月25日） ・緑が浜小学校（7月15日）、浜須賀中学校（8月29日）、鶴が台小学校（9月1日）、浜須賀小学校（11月16日） <p>また、教育センター主催の研修や希望する学校での研修会において講演を行いました。教育課程編成研究会では、管理職及び校内研究推進教員等を対象とし「学校の情報化と授業改善」と題して講演会を開催しました。</p> <p>計画訪問では、タブレット端末の効果的な活用法について説明を行うとともに、実際の授業での活用の状況を踏まえた協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4校（香川小学校：5月30日、松浪小学校：7月13日、鶴が台小10月24日、茅ヶ崎小学校：11月8日） ・中学校3校（北陽中学校：7月4日、梅田中学校：10月3日、西浜中学校：10月17日、） <p>加えて、各学校の教員が、指導用のタブレットから情報モラルに係る資料や各教科における利活用の方法等について、いつでも参照できる設定にするとともに、故障など不具合などが生じた際に対応できるチャットを開設しました。</p> <p>各学校において、学校図書館システムのスムーズな運用を図れるよう、図書館司書及び担当教員を対象とした運用に係る研修会を、全小・中学校を8グループに分けて開催しました。</p> <p>また、保護者と学校をつなぐ欠席連絡システムを導入し、各学校にシステムの説明を行うとともに、管理職及び担当教員を対象とした運用に係る研修会を、全小・中学校を4グループに分けて実施しました。</p>				
<p>【取組の成果】</p> <p>ICT機器が課題を解決するツールの一つであることが認識され始めたことから、令和4年度から家庭への端末の持ち帰りを実施する学校が増えました。</p> <p>令和4年度の全国学力・学習状況調査におけるタブレットに係るアンケートでは、児童・生徒ともに使用頻度について全国平均を上回りました。</p>	<p>【課題・今後の取組】</p> <p>学校間、教員間で活用について差が生じてきています。中学校は教科担任制であるため、各教科の特性に合わせて一定の活用が進んでいますが、小学校は学級担任制であるため、よく使用するクラスとそうでないクラスの差が生じている状況が窺えます。</p> <p>引き続き各学校において積極的に校内パソコン委員会担当者会や計画訪問等の機会に通じて、活用の仕方等、最新の情報を発信していきます。また、各学校の状況について情報共有できる機会を設けます。</p>			

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	〔図書館・青少年会館共催事業〕 オンラインブックトーク どの本よもうかな？
------------	--

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充 ウ 子ども事業
-------------	---

目標・目的	・読書を通して青少年の健やかな成長を支援します。 ・家族で本に親しむ生活の定着と図書館利用を促し、読書習慣を形成します。 ・知識及び技能の習得や創造力等を高めるとともに仲間づくりの促進を図ります。
--------------	--

事業内容	対象年齢と季節に合わせた絵本の読み聞かせや、わらべうた、ブックトークを行います。読み聞かせや、わらべうたでは文学に親しむ素地を作り、ブックトークでは物語以外にも、実験や工作を交えて様々なジャンルの本を紹介することで好奇心を育みます。オンライン会議システムZoomを使用するため、インターネット環境が整っていれば、誰でもどこからでも気軽に参加することができます。
-------------	--

活動指標	事業の実施回数			評価
	上半期	下半期	通年	
目標	実施	実施	11回	S
実績	実施	実施	10回	

<p>【事業実績】</p> <p>対象年齢と季節に合わせた絵本の読み聞かせや、わらべうた、ブックトークをオンラインで配信し、参加者は自宅から視聴しました。8月以降は図書館本館をサテライト会場として設置し、来館者の視聴も可能にしました。(対象：小学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月21日(土) 図書館本館第1会議室から配信 参加人数：子ども8人 ・6月18日(土) 図書館本館第1会議室から配信 参加人数：子ども7人、大人2人 ・8月5日(金) 博物館図書室からテーマ別に2回配信(サテライト会場として図書館本館第1会議室) 1回目参加人数：(Zoom) 子ども4人、大人1人(サテライト会場)大人7人 2回目参加人数：(Zoom) 子ども1人、大人1人(サテライト会場)大人7人 ・9月17日(土) 青少年会館から配信(サテライト会場として図書館本館第1会議室) 参加人数：(Zoom) 子ども2人(サテライト会場)子ども3人、大人5人 ・10月15日(土) 青少年会館から配信(サテライト会場として図書館本館第1会議室) 参加人数：(Zoom) 子ども1人、大人1人(サテライト会場)子ども2人、大人8人 ・11月23日(土) 青少年会館ロビーで対面で実施 参加人数：子ども8人、大人6人 ・12月17日(土) 青少年会館から配信(サテライト会場として図書館本館第1会議室) 参加人数：(Zoom) 子ども4人、大人2人(サテライト会場)子ども3人、大人6人 ・1月21日(土) 青少年会館から配信(サテライト会場として図書館本館第1会議室) 参加人数：(Zoom) 子ども4人、大人3人(サテライト会場)子ども1人、大人4人 ・2月18日(土) 図書館から配信(サテライト会場として図書館本館第1会議室) 参加人数：(Zoom) 大人3人(サテライト会場)子ども6人、大人4人 ・3月18日(土) 実施予定 (P12関連記載あり)
--

<p>【取組の成果】</p> <p>オンライン配信で自宅から気軽に参加してもらうことで、休日に家族で本に親しむきっかけをつくることができました。工作を親子で楽しむ様子も多く見られました。Zoomの双方向性を生かして参加者とのやり取りを行うことで、より参加者からの集中度、満足度を高めることができました。</p> <p>オンライン接続が難しいという方のためにサテライト会場を用意し、図書館来館者の直接参加を可能にしたことで、新たな参加者を呼び込むことができました。ブックトークで紹介した本を青少年会館に展示し、Twitterで周知することで貸出しにもつながりました。</p>	<p>【課題・今後の取組】</p> <p>ブックトークは対面での実施が可能になることから、オンラインでの配信は終了とします。今後も青少年の読書習慣の形成と図書館の利活用を促すため、夏休み等の長期学校休業日に図書館でのブックトークを行います。また、今回習得したオンラインの手法を活用した学校連携について研究を進めます。</p>
---	---

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	青少年教育相談事業			
取組方針	【2】学校教育の充実 (3) 青少年教育相談の充実			
目標・目的	青少年が教育上直面する問題や不安、悩みの相談に対応し、青少年の健全な育成、非行化防止及び自立を目指します。また、激しく変化する社会を反映し、複雑化・多様化する相談内容に適切かつ迅速に対応し、児童・生徒、青少年の全人的発達を支援します。			
事業内容	青少年の健全育成へのよりよい支援・相談業務を推進するために、スーパーバイザーの指導助言を受けながら、電話相談及び面接（来所）相談を実施します。 学校及びあすなる教室（適応指導教室）に通うことができない、またはその傾向のある児童・生徒への支援・相談業務として、不登校児童・生徒訪問相談を実施します。また、面接相談に係る児童・生徒を対象に、「小・中学校要請教育相談」を実施します。			
活動指標	相談員の人数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	10人	10人	10人	S
実績	8人	9人	9人	
【事業実績】				
<p>青少年の健全育成に向けたよりよい相談・支援を推進するために、電話相談、面接（来所）相談、小・中学校要請教育相談、不登校児童・生徒訪問相談を実施し、青少年が抱える不安や悩みを受け止め、その改善に向けて支援しました。</p> <p>令和4年度の青少年教育相談件数は、2月末時点で、電話相談が304件、面接（来所）相談が1,832件、小・中学校要請教育相談が1件、訪問相談が1件でした。相談内容の種別で最も多いのは「不登校・ひきこもり」で、次に「発達障がい」でした。</p> <p>相談者に対して適切な支援を行えるよう、ケースに応じて学校や関係機関との連携を図り、情報共有等を行うなどして、児童・生徒及び保護者に対する心のケアに努めました。また、所内において各相談員が担当する相談ケースについて意見を交換し合い、情報の共有と相談技能の向上に努めました。</p> <p>令和4年度は、令和5年2月末時点で、本通室・仮通室あわせて26名があすなる教室に通室しており、学校復帰や社会的自立に向けての支援を行うことができました。</p>				
【取組の成果】		【課題・今後の取組】		
<p>令和4年度においても新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、継続的に相談・支援業務を実施することができました。</p> <p>上半期には欠員が生じていた心理相談員の補充を10月に行い、より多くの方の相談に対応することができました。</p> <p>相談内容が複雑化・多様化する中で、学校や関係機関との連携を図るとともに、相談室内でのケース会を定期的実施し、様々なケースに組織的に対応することができました。</p>		<p>不登校児童・生徒数が増加傾向にある中で、一人一人の相談ニーズに対応できる支援の在り方について、学校や関係機関との連携を図りながら検討していきます。</p> <p>あすなる教室では、小学生を含む通室希望者が増えています。一人一人が自分らしさを大切に、安心して過ごせる居場所としてのあすなる教室の在り方について、研究を深めていきます。</p>		

「令和4年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	心の教育相談事業			
取組方針	【2】学校教育の充実 (3) 青少年教育相談の充実			
目標・目的	児童・生徒のストレスを和らげ、心に安らぎを与えるとともに、様々な問題の早期発見・早期対応、未然防止につながるよう、各小・中学校に、気軽に相談できる第三者的な存在として、心の教育相談員を配置し、学校相談体制の充実を図ります。			
事業内容	全市立小・中学校32校に心の教育相談員を配置し、児童・生徒の第三者的な存在となつて、悩みの相談相手、話し相手になります。校内では必要に応じて管理職や教員と、中学校区連絡会では地域の小・中学校との連携を図り、情報共有します。また、学校の教育活動を支援し、不登校傾向の児童・生徒に対応します。勤務日数は、1日4時間、週4日、年間160日間です。			
活動指標	心の教育相談員の勤務日数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標			160日	S
実績			160日	
【事業実績】				
<p>令和4年度2月末時点での心の教育相談件数は、54,206件となっています。主な相談内容として、児童・生徒が休み時間に相談室を訪れ、相談員とのふれあいを通して心の安定を図るふれあい相談が44,887件（全体の約83%）、不登校相談が2,821件（同約5%）、友人関係の相談が1,342件（同約2%）となっています。児童・生徒の心のケアのために、各学校で新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、心の教育相談活動の実施に努めました。</p> <p>また、心の教育相談員の相談技能向上と相談員同士の連携強化を図るため、心の教育相談員研修会を3回実施しました。</p> <p>第1回研修会テーマ「登校しぶり、不登校傾向の子どもの成長可能性」 第2回研修会テーマ「思春期にみられるこころの問題」 第3回研修会テーマ「学校以外での様々な悩みを抱える子どもの支援」</p> <p>加えて、同じ中学校区内の心の教育相談員や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携を深めるため、心の教育相談員中学校区連絡会を3回（6月、11月、2月）実施しました。</p>				
【取組の成果】		【課題・今後の取組】		
<p>心の教育相談員による相談は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、相談室への入室制限等、各学校において工夫を施しながら継続的に実施することができました。また、教室や廊下等相談室外でも児童・生徒への声かけを行ったり、授業時間に教室を巡回したりすることにより、心に不安を抱えた児童・生徒が気軽に相談できるよう努めました。</p> <p>心の教育相談員が、相談に来た児童・生徒の些細な変化や違和感を教員につなげることで、問題の早期発見、早期対応が可能となるケースが見られました。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症による学校生活や家庭環境の変化等は、児童・生徒に様々な影響をもたらし、相談内容も複雑化・多様化しています。</p> <p>このような状況に対応するために、心の教育相談員のニーズを把握しながら、児童・生徒への適切な支援に資するような研修会を設定するとともに、「チーム学校」として組織的に対応できるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが同席する中学校区連絡会を活用し、連携強化と相談員の資質向上を図ります。</p>		

2-2 事業一覧

※新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の事業計画から実施方法の変更、実施規模の縮小、中止を判断し、年間の事業を実施しました。茅ヶ崎市青少年対策実施計画に基づく令和4年度事業の実施状況については、次頁以降のとおりです。

実施状況		備考
○	当初の計画通り実施	
▽	規模を縮小して実施	回数減、期間短縮、参加人数減など
△	手法を変更して実施	動画配信、資料配布など
×	中止	

1 家庭における青少年育成への支援

(1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充

ア 青年事業（青年の健康な余暇活動推進の一環として、オンラインの活用を含めた様々な学習機会を提供し、知識及び技能の習得及び向上、世代間交流を図る。）

課かい名	事業数	状況	事業名	
青少年課	育成担当	1	○	・はたちのつどい
	体験学習センター	3	▽	・利用団体紹介動画配信
			×	・利用団体紹介動画配信（福祉団体）
			○	・施設を利用した体験学習動画配信
	青少年会館	7		・青少年事業の実施・・・・・・・・・・ P11.12
			○	トレーニング室開放
			○	青少年学習室開放
			○	青少年音楽室個人利用開放
			○	青少年卓球開放
			○	卓球教室
○			鍵盤ハーモニカでJAZZを弾いてみよう	
○	ねんどdeミニチュアフード			
合計	11			

イ 親子事業（子どもと保護者が同じテーマで学習することによって共通の話題を持ち、相互のふれあいを図る。）

課かい名	事業数	状況	事業名	
社会教育課	小和田公民館	3	○	・親子で楽しむ工作教室
			○	・親子で防災
			○	・公民館SDGsサポート隊
	鶴嶺公民館	8	○	・夏休み親子料理教室
			○	・親子でみそづくり講座
			○	・onlineで世界を知ろう Afternoon Tea
			○	・乳幼児健康相談
			○	・子育てしながらウクレレマスター
			○	・子育て広場 カルガモ
			○	・スマイリングままサロン
			○	・海藻おしぼ教室・・・・・・・・・・ P 5
	松林公民館	4	×	・親子でおやつ作り
			○	・松林公民館畑クラブ
			○	・夏休み親子おもしろ科学実験
			○	・親子陶芸教室
	南湖公民館	3	▽	・ほしつ メソッド
			○	・絵本とお話の時間
			▽	・親子で学ぶ救命講習会

課かい名		事業数	状況	事業名
社会教育課	香川公民館	5	○	・おちゃっぴさんの粘土教室
			○	・親子で陶芸教室
			○	・親子で贅沢味噌づくり
			○	・かめさんのおうち（子育てフリースペース）
			○	・保育園のびのび広場
青少年課	青少年会館	2	○	・苔玉教室
			○	・盆栽教室
合 計		25		

ウ 子ども事業（集団行動を通して自発性や社会性を育み、広域の児童の文化活動や仲間づくりの促進を図る。）

課かい名		事業数	状況	事業名		
社会教育課	小和田公民館	2	○	・子どもの広場		
			○	・清流で水辺の生き物探索		
	鶴嶺公民館	1	○	・子どもの広場		
			松林公民館	4	○	・子どもの広場・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
					○	・子どもボランティア
○	・チョークアート					
×	・PCプログラミング講座					
南湖公民館	1	▽	・子どもの広場・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7			
青少年課	育成担当	2	○	・冒険遊び場		
			▽	・宇宙教室		
	青少年会館	3	○	・チリモンを探せ！		
			○	・消しゴムスタンプ教室		
○	・小学生のプログラミング教室					
青少年会館・図書館		1	○	・オンラインブックトーク どの本よもうかな？・・ P 1 5		
合 計		14				

エ 交流事業（地域・国際の理解を深め、交流を促進する。）

課かい名		事業数	状況	事業名
男女共同参画課		4	○	・ゆかりのまち青少年交流事業
			○	・北マケドニア共和国絵画コンテスト
			○	「SMALL MONTMARTRE OF BITOLA」への参加
			○	・北マケドニア共和国国内小学校との手紙交流
○	・お父さんのための子育て応援講座			
社会教育課	小和田公民館	2	○	・公民館まつり
			○	・こわだ音楽祭
	鶴嶺公民館	3	○	・日本の年越し しめ飾りづくり
			▽	・つるみねミュージックイン
	○	・公民館まつり		
	松林公民館	1	○	・公民館まつり
	南湖公民館	1	▽	・公民館まつり（展示及び催し物）
	香川公民館	3	○	・日本の歳越し（しめ飾りづくり）
○			・布ぞうりづくり	
▽			・香川公民館まつり	

課かい名		事業数	状況	事業名
青少年課	体験学習センター	1	○	・茅ヶ崎公園体験学習センターにおける自主事業・・・・・・・・・・P10
	青少年会館	3	○	・スポーツチャンバラ体験教室
			○	・スポーツ吹き矢体験教室
			○	・鉄道模型の工作教室
図書館	本館	1	○	・小さい子～小学生向けおはなし会(毎月第1・2・4土曜日)
	香川分館	1	▽	・小さい子～小学生向けおはなし会(毎月第3土曜日)
合計		20		

(2) 小学校ふれあいプラザ事業の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	1	▽	・小学校ふれあいプラザ事業
合計		1		

2 学校教育の充実

(1) 地域の教育資源を活用した教育活動の推進

課かい名		事業数	状況	事業名
資源循環課		1	○	・環境学習(出前授業)
学校教育指導課		1	○	・学校支援・地域連携事業・・・・・・・・・・P13
合計		2		

(2) 児童・生徒指導の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
男女共同参画課		1	○	・「平和について」ポスター・作文コンテスト
図書館	本館	4	○	・小学校図書館におすすめ本の展示
			○	・読書週間 茅ヶ崎市児童・生徒ポスター展
			○	・ブックトーク講師派遣事業
			○	・総合学習の受入
	香川分館	1	○	・総合学習の受入
合計		6		

(3) 青少年教育相談の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
教育センター		4	○	・青少年教育相談事業・・・・・・・・・・P16
			○	・心の教育相談事業・・・・・・・・・・P17
			○	・スクールカウンセラー活用事業
			○	・あすなる教室(適応指導教室)事業
合計		4		

(4) ICT環境を活用した学習活動の推進(新規)

課かい名		事業数	状況	事業名
学校教育指導課		1	○	・GIGAスクール構想事業・・・・・・・・・・P14
合計		1		

3 地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実

(1) 青少年健全育成施設の有効利用の促進

課かいい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	2	○	・子どもの家（6施設）
			○	・青少年広場（14箇所）
	体験学習センター	1	○	・体験学習センター（フリースペース、学習室等）
	青少年会館	4	○	・トレーニング室開放
			○	・青少年学習室開放
○			・青少年音楽室個人利用開放	
		○	・青少年卓球開放	
合計		7		

(2) 青少年指導者の養成

課かいい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	1	▽	・青少年指導者等への研修会の開催
合計		1		

(3) 青少年団体活動等の充実

課かいい名		事業数	状況	事業名
スポーツ推進課		1	○	・スポーツ少年団等の育成支援
青少年課	育成担当	3	○	・ジュニアリーダー養成講座
			○	・小学生向け体験活動事業・・・・・・・・・・ P 9
合計		4		

(4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実

課かいい名		事業数	状況	事業名
スポーツ推進課		1	○	・ジュニアスポーツ教室(指定管理者の自主事業) ((公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団、(株)東京アスレティッククラブ、茅ヶ崎スマートウェルネスパーク(株))
社会教育課	小和田公民館	2	○	・おもしろいっぱい遊び空間・・・・・・・・・・ P 4
			○	・放課後卓球教室
	鶴嶺公民館	4	○	・夏休み自然観察
			○	・教えて！生きもの博士
			×	・小学生サークル体験
			○	・卓球開放
	松林公民館	4	○	・子どもの広場
			○	・子ども将棋スペース
			○	・子ども手話教室
			○	・夏休み親子おもしろ科学実験
南湖公民館	1	△	・卓球開放	
香川公民館	2	▽	・卓球開放	
		○	・レッツ！トライ！ボランティア！！2022・・・・ P 9	

課かい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	1	▽	・青少年関係団体の育成事業
	青少年館	2	○ ○	・トレーニング室開放 ・青少年卓球開放
合 計		17		

4 青少年の非行防止のための地域活動の充実

(1) 地域の広報啓発活動の推進

課かい名		事業数	状況	事業名
福祉政策課・青少年課		1	▽	・社会を明るくする運動
青少年課	育成担当	2	○	・子どもの安全を守るキャンペーン (5、11月)
			○	・子ども・若者育成支援強調月間 (11月)
合 計		3		

(2) 非行の未然防止活動の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	2	○	・地域のパトロール (各学区青少年育成推進協議会)
			▽	・社会環境健全化推進キャンペーン (5、11月)
合 計		2		

(3) 有害環境の浄化の促進等

課かい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	2	○	・社会環境実態調査 (青少年指導員)
			○	・有害図書回収 (青少年指導員)
合 計		2		

5 子どもの安全を守る取組の推進

(1) 啓発活動の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
安全対策課		3	○ ○ ○	・茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議 ・防犯情報メール配信 ・青色防犯パトロール
消防指導課		1	○	・防犯パトロール
青少年課	育成担当	1	▽	・子どもの安全を守るキャンペーン (5、11月)
合 計		5		

(2) 学校における取組の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
安全対策課		1	○	・交通安全教室
学校教育指導課		1	○	・学校における取り組みの充実 (学校における防犯教室、危険個所把握のためのパトロール等)
青少年課	育成担当	1	○	・防犯ブザーの配布 (市内新小学1年生)
合 計		3		

(3) 地域活動への支援

課かい名		事業数	状況	事業名
安全対策課		4	○ ○ ○ ○	・自主防犯活動団体支援事業 ・防犯ネットワーク会議 ・街頭緊急通報装置 ・香川駅前防犯連絡所
青少年課	育成担当	1	○	・パトロール等啓発物品の配布
合 計		5		

(4) インターネットトラブル等に対する取組の充実

課かい名		事業数	状況	事業名
青少年課	育成担当	1	○	・ネットパトロール事業
合 計		1		